

長半岩 (重盤岩) あれこれ

津奈木小学校の浪崎義松先生が主となって「君は砂」「君はガラス」と生徒一人ひとりに材料を持たせて長半岩にはこぼせた。そうしてできた掲揚台である。浪崎先生は亡くなられ、その生徒たちは今は六十才をこえている。戦争前後は国旗のあがらぬときもあつたが、昭和三十年以降は、ときれることなくひらめくように

国旗掲揚台は岩の行きどまりの所にある。コンクリートの柱の東がわには「皇太子殿下御降臨記念」南がわには「昭和九年三月二十七日建之」と彫ってある。皇太子殿下明仁親王の御誕生は昭和八年十二月二十三日であるから、台柱は春のくるのを待って建てられたと思われ。

庄屋が腹は今が切りどきという辞世の歌をのこして、岩の最先端で腹を切り、飛びおりに死んだ。それでこの岩を長半岩というようになった。〈和歌の解説〉木は六月、竹は八月、かやは十月が一番よい切りどきである。自分の腹も今が切りどきという意味。

長半岩の名のいわれ
むかし長半という庄屋がいた。なにかの職務上の手落ちがあつて生きていられないほどの責任を感じた。そこで木六竹八かや十月

「ふるさと自慢の緑」を県民の投票でできた結果、津奈木町は熊本県百景中の七十九番目であつた。津奈木の押し出した場所は、「重盤岩と舞鶴城跡公園」であつた。一番であつたと、百番であつたと問題でない。要は緑を大切に、保護、育成してゆこうというのがねらいである。

「水はどきやんするか」「矢城から引っぱってくる」「たわいもない夢のような話であるが、夢のような話が現実の公園となったことに、滝の話も夢でなくなるかもしれぬ。

夢のような話
長半岩と城山一帯の公園化を望む声は津奈木町外に出ている人が方々強かつた。他所にないこのすばらしい景色を置き去りにしておくのが惜しくてたまらなかつたのだ。しかし昭和五十三年にその希望が生かされて舞鶴公園となつた。長半岩の上から滝はつくればよからばってん」

「三つ子の魂百まで」と云う諺がある。子供の頃、団扇であおいて貰いながら、昔話を何度も繰返して聞かされて眠ってしまった思い出をもっている。今思えばよくも飽きもせず聞いたものだと思つた。勿論5485個の人工衛星が地球を回り、兎の餅搗きを信じ有難く拝んでいた月に人類が降り立ち、ちびオンピオン飛びはねて再び帰ってくる現代の子供とは次元が異なるが、併し昔話の中に塩や砂糖のかくし味の様に語りこまれた「義理人情」「報恩や公德心」等知らず知らずのうちに頭の芯に沁みこんでいる様な気がする。

「重盤岩と舞鶴城跡公園」
津奈木の押し出した場所は、「重盤岩と舞鶴城跡公園」であつた。一番であつたと、百番であつたと問題でない。要は緑を大切に、保護、育成してゆこうというのがねらいである。

「水はどきやんするか」「矢城から引っぱってくる」「たわいもない夢のような話であるが、夢のような話が現実の公園となったことに、滝の話も夢でなくなるかもしれぬ。

「三つ子の魂百まで」と云う諺がある。子供の頃、団扇であおいて貰いながら、昔話を何度も繰返して聞かされて眠ってしまった思い出をもっている。今思えばよくも飽きもせず聞いたものだと思つた。勿論5485個の人工衛星が地球を回り、兎の餅搗きを信じ有難く拝んでいた月に人類が降り立ち、ちびオンピオン飛びはねて再び帰ってくる現代の子供とは次元が異なるが、併し昔話の中に塩や砂糖のかくし味の様に語りこまれた「義理人情」「報恩や公德心」等知らず知らずのうちに頭の芯に沁みこんでいる様な気がする。

「三つ子の魂百まで」と云う諺がある。子供の頃、団扇であおいて貰いながら、昔話を何度も繰返して聞かされて眠ってしまった思い出をもっている。今思えばよくも飽きもせず聞いたものだと思つた。勿論5485個の人工衛星が地球を回り、兎の餅搗きを信じ有難く拝んでいた月に人類が降り立ち、ちびオンピオン飛びはねて再び帰ってくる現代の子供とは次元が異なるが、併し昔話の中に塩や砂糖のかくし味の様に語りこまれた「義理人情」「報恩や公德心」等知らず知らずのうちに頭の芯に沁みこんでいる様な気がする。

一言

「三つ子の魂百まで」と云う諺がある。子供の頃、団扇であおいて貰いながら、昔話を何度も繰返して聞かされて眠ってしまった思い出をもっている。今思えばよくも飽きもせず聞いたものだと思つた。勿論5485個の人工衛星が地球を回り、兎の餅搗きを信じ有難く拝んでいた月に人類が降り立ち、ちびオンピオン飛びはねて再び帰ってくる現代の子供とは次元が異なるが、併し昔話の中に塩や砂糖のかくし味の様に語りこまれた「義理人情」「報恩や公德心」等知らず知らずのうちに頭の芯に沁みこんでいる様な気がする。

津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(代表3111)
印刷所 旭印刷
電話(水俣) 4101番

小雨吹き飛ばし熱戦

町民体育祭 優勝男子ソフト日当 優勝女子バレー染竹



去る、5月19日(日)雨模様で心配された中、町総合グラウンドとB&G体育館で本年度最初の町民体育祭男子ソフトボール大会と女子バレーボール大会が開催された。両種目とも、それぞれの会場で開会式が行なわれた後、午前9時から、さっそく各バートに別かれて試合が始まった。

ソフトボールは、本年度からスローピッチルールが取り入れられ、どのチームも、普段なかなか打てない人も今大会ではあわやホームランかと思わせる大きな当りを飛ばす選手も出て、応援に駆けつけた子供達や母親達からさかんな声援が飛びかっていた。

結局ソフトボールは、順調に勝ち進んだ日当チームが、決勝でも圧倒的な強さを見せ上下門チームを振り優勝を遂げた。

又、体育館においても、アリーナサイドにいっぱい詰めかけた応援者の割れんばかりの声援の中で試合が行なわれ、好プレーや珍プレーが続出して終日熱戦が展開された。

決勝では、染竹と日添の大激戦となり大会初めてのフルセットに持ち込まれ染竹が大逆転を見せ、日添を下し優勝を飾った。

なお、結果は、次のとおり

◎男子ソフトボール
優勝 日当
準優勝 上下門
三位 新川 小津奈木

◎女子バレーボール
優勝 染竹
準優勝 日添
三位 上下門 福浦

どうぞよろしく!

町の体育指導委員さん

氏名	年令	勤務先	特技及び資格
津奈木 美孝	53	久木野小学校 越小場分校 09666-9-0014	日体協公認スポーツ指導員・ソフト審判2種
鶴野 賢二	45	芦北高校 09668-2-2034	陸上競技・陸上第2種審判
井上 博之	39	津奈木中学校 2019	バレーボール
山路 英樹	36	津奈木農協 3121	野球・ソフトボール2種
村上 広	34	建設業 2416	野球・ソフトボール
西平 久雄	33	津奈木農協 3121	バレーボール 審判2種
新立 広	32	自営 2701	陸上競技・陸上第3種審判
泉 清治	29	津奈木小学校 2008	野球・ハンドボール
岩三子 千々	25	社員 4364	陸上競技・バレーボール3種審判
前田 浩代	23	津奈木中学校 2019	エアロビクス 体操



任期に伴い本町の体育指導委員が決まりました。この度女性の指導委員も加わり次の10名の方々が再任或は新任となられました。町の体育スポーツ振興はもとより町主催の各スポーツ事業等に対しての企画立案並びに各種スポーツ大会の運営協力それに各種スポーツ教室等の指導委員さんです。みなさんの地域又は、グループでスポーツを始めたい場合、指導者が必要なき場合は、体育指導委員が、お手伝い致します。

指導依頼につきましては、あらかじめ教育委員会又は、海洋センター事務局まで御連絡下さい。

▽これからは必ず編集後記を書きます。これを見ることにより記事の大体がわかり、読む記事の順もつかめます。これも断です。

▽「長半岩あれこれ」国旗掲揚台のいわれなどがわかります。

▽「町誌こぼれ話」の筆者が代って岡本秋徳氏になりました。確実な資料をもとに納得のいくまで調査して書かれた文です。御期待下さい。

▽結婚式はぜひ公民館を御利用ください。

▽「生活改善実践目標」のせましいふるまされたことばかりです。されど新しい問題です。

水泳と海洋スポーツで「体中心を鍛えよう!」
4月21日(日)町スイミングクラブ員の協力で、プールの清掃を行い又貯水も完了し、現在スイミングクラブ員がすでに練習を始められています。

本格的な一般解放は、夏休みに入ってからですが、祝日、日曜日はもとより月曜日(休館)を除いた平日の一般利用は、二名以上で使用できます。

幼児及び小中学生の個人での利用は、認めません。利用の場合は、任期に伴い本町の体育指導委員が決まりました。この度女性の指導委員も加わり次の10名の方々が再任或は新任となられました。町の体育スポーツ振興はもとより町主催の各スポーツ事業等に対しての企画立案並びに各種スポーツ大会の運営協力それに各種スポーツ教室等の指導委員さんです。みなさんの地域又は、グループでスポーツを始めたい場合、指導者が必要なき場合は、体育指導委員が、お手伝い致します。

指導依頼につきましては、あらかじめ教育委員会又は、海洋センター事務局まで御連絡下さい。

▽これからは必ず編集後記を書きます。これを見ることにより記事の大体がわかり、読む記事の順もつかめます。これも断です。

▽「長半岩あれこれ」国旗掲揚台のいわれなどがわかります。

▽「町誌こぼれ話」の筆者が代って岡本秋徳氏になりました。確実な資料をもとに納得のいくまで調査して書かれた文です。御期待下さい。

▽結婚式はぜひ公民館を御利用ください。

▽「生活改善実践目標」のせましいふるまされたことばかりです。されど新しい問題です。

編集後記

▽おもしろいだけなら馬鹿みたい。ためになることだけなら遠慮する。「読んでみようか」と思わせる。記事を作ろうと編集委員は日夜苦心さんたんしてしています。

▽年度が改まって新しくなったものに、「一言」があります。本号までは役職をもった人に執筆をお願いしていますが、次号から町民一般の人にお願することにしました。

▽「庁舎美術館」役場庁舎内にはすでにアロンスの婦人像が玄関入口に陳列してあります。絵も庁舎の要所に掲げてあります。

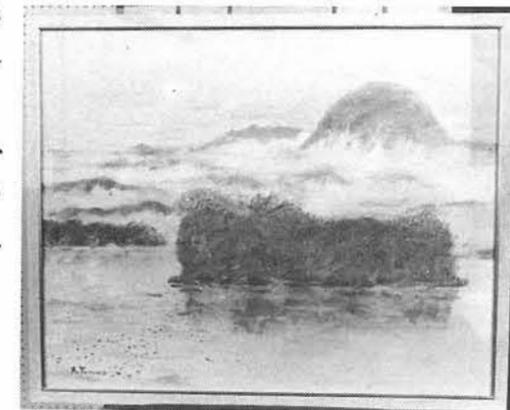
最初はそれらの紹介から始めます。ゆくゆくは庁舎が美術館を兼ねるようになると願っています。新企画です。

庁舎美術館 (一)

鴨の飛びたつ日

鶴野 六良作

湖面にもやが立ち昇る早春のある日鴨達は飛びたつた。周辺の農家に嫌われてる事も知らず秋には又やってくるのだらうか。一群がとびたつた後には第二群第三群の鴨達が泳いでいた。もやを印象づけるために墨絵風に描いてみた。江津湖周辺の春景色のひとつ。



エビネラン・サツキ 展示会は盛況でした



いま全国的に、エビネランの美しさが再確認され、町内の各家庭でも庭の隅や木の陰には鉢植にして、觀賞されています。以前は少し山の中にはいると幾株かを見付けることが出来たが、最近余程の幸運でないとなかなかお目に掛りません。花が終わったら花柄を引き抜き、少し有機質の肥料をお礼に施して置きましょう。



収入役室前展示

津奈木町文化協会「エビネラン」愛好会では、去る四月十三日と十四日に、中央公民館ホールで展示会を催しました。会員三十名の自慢の花二百五十鉢が展示され、訪れる愛好者たちの目を惹き寄せました。また即売会や手入れについての相談も開かれました。
なお、五月十七日と十八日にはサツキ展示会も催され、二十三名の会員から百三十鉢が展示されました。入賞次の通り。

- ▽最優秀賞
丸田栄子、山口 敦、山下繁樹、寺岡栄助、山崎和美、広松 正、山路重郎
- ▽優秀賞
坂本光弘、久村末喜、山本 茂、中村段重、大淵助保、福田辰義、坂本有徳
- ▽最優秀賞
エビネ展示会



利用されている改善結婚

生活改善 今後の実践目標

内容

- 1 結婚式・祝金一五、〇〇〇円以内 (引出物は廃止)
 - 2 葬 儀・目覚一、〇〇〇円以内 (通夜茶菓子は盛付にし個人配付はしない)
 - 3 病氣見舞・見舞金二、〇〇〇円以内 (お返し廃止、快気祝等は廃止)
 - 4 節 句・矢旗三本以内 (矢旗祝金二、〇〇〇円以内 (記念品廃止))
 - 5 その他・七五三、新築祝等も右記に準じ簡素化し記念品は廃止
- ・町内の年賀状は共同年賀状を利用しましょう。
- 昭和六十年四月
津奈木町生活会議推進協議会

町誌ごぼれ話

ほつどん

岡本 秋徳

酒癖が悪く、他人に罵声を浴びせて絡む人のことを、「山芋掘り」と云いますが、昔、御神酒が回ると、どうにも手のつけられない「山芋掘り」の神主がいて、それから神主のことを「ほつどん」と呼ぶようになったのではないかと。
ある日、小学館発行の「国語大辞典」を見ていたら、「ほつ」ということが目につきました。「ほつ」は「ほつ」の意味だと書いてあります。「ほつ」は慣用語で、漢字では「ふつ」と書いてあり

女子青年団員紹介

山川 京子



私は津奈木に住んで、今年で五年目になります。津奈木に来てすぐに、私は青年団に入りました。こちらに友人がいなかった私には、とても良かった事だと思いました。青年団に入って、いろんな人達と知り会えたし、いろんな行事に参加する事が出来ました。近頃、青年団と聞くと、敬遠する人が多いようですが、若いうちは、津奈木に残っている人達に、青年団を通して、体験してもらいたいと思います。
プロフィール
昭和37年7月15日生 22才
血液型A型 星座かに座
理想のタイプ やさしい人

歯科医として 口腔外科を専攻

鶴野 一洋

医科の分野では、一九一七年、アメリカの眼科医によって、「専門医」が発足したが、歯科の場合、「歯科医は最初から専門医」として教育されており、本邦において現在認められている標榜医(看板を掲げること)は、「小児歯科」「矯正歯科」のみである。
私は、昭和52年大学卒業後、直ちに鹿児島大学医学部口腔外科(昭和55年歯学部発足後は、歯学部第一口腔外科)に入り、腫瘍(良性および悪性の各種腫瘍)・外傷(顎骨骨折・軟組織損傷等)・奇形(兔唇・口蓋裂等)の三大疾患を中心とした口腔外科を専門として、診断・手術等を経験してきた。口腔外科的疾患の中には、口腔領域にのみ発生するものや、全身疾患と関連するもの等種々な疾患があるが、中には、大切な命まで奪ってしまうような恐ろしい病状もある。私が経験してきた限りでは、重篤な状態になって初めて受診する患者さんが多かったようである。

大学を離れ津奈木に来て一年を過ぎ、近隣市町の歯科・歯科の先生方より、口腔外科的疾患を有した患者さんの紹介も徐々に増加してきたが、「むし歯」「入れ歯」等の歯科治療は勿論のこと、口腔外

肥後狂句

堀 双岳選

着順
鳥居 雲波
とんとん拍子、結婚式までこぎつけた
早やかア、もう高校に入学か
とんとん拍子、済んで嫁御は連れて来た
早やかア、もうしまいかな彼岸団子
とんとん拍子、親の光りで出世さす
早やかア、四十九日も済まんとに

次 笠
堀 双岳
どっちもどっち、思い出し。各笠二句宛。六月二十日まで。公民館へ。

短歌

小嶋 正弘選

老麗の女にならんとわが年も忘れて学ぶ年の始めに 片桐 真代
岩を縫う細きせらぎ凍てつきし 佐々木しずえ
いで湯の朝の凍と澄みたり 佐々木しずえ
つまづきし石を起せば春を待つ草の芽白く息づきており
夫とあれば寒さ厭わじこの冬の薪をしかと束ねて積みぬ 片桐真代
九十を過ぎし姉よりひさびさの電話なつかし幼な名呼びて 鳥居 保
鶴田浩二亡き戦友を歌う夜のテレビに夫の涙一すじ 白浜美和子
旅すれば人みな羨し伴ありて亡き夫思われ一人旅 柳迫いづも
細を打つわれのかたえに鉄もちて遊びし孫の眠りは早し 寺本ツルラ
靖国の朝のしずけき神域に見たる学徒の遺書に涙す 野田 浦子
わが庭に今年も咲きし白椿真白八重咲散れば白妙 柳迫ミツエ
道すがらふと目に止めし紅梅の花あざやかに残る眼うら 福田やエ子
降るとしも見えず春立つ朝の雨梅の小枝に白し雨滴も 小嶋 正弘
三月号で誤記がありました。お詫して訂正致します。

第五回 短歌会詠草

吐く息の白く凍れる霜の朝子等は勇みて駆けかけゆく 片桐 真代
乙女等のかなしき最後しのびつつ涙あふるる姫百合の塔 柳迫 いづも
千柿の簾なす日を楽しみに孫は数うる我はひたたく 白浜美和子
そびえ立つ重盤岩の雄々しさを仰見るなり朝な夕なに 福田やエ子
外つ国に母の年忌を思いむ妹に墓参の写真をとりぬ 野田 浦子
ひそやかに霜は降るらし暗々と中天高く冬の満月 小嶋 正弘

わたしたちの先生 津奈木幼稚園



後列右より
 浜本喜代美先生 さくら組
 塚本 禎子先生 園 長
 山下 泉先生 うめ組

前列右より
 日野 敏子先生 もも組
 伊藤多美子先生 事務

団 長 丸山 久雄
 副団長 高木金次郎
 副団長 農添ひとみ
 副団長 坂本 敏勝
 広報部長 新立巳喜男
 体育部長 山下まゆみ
 文化部長 長浜 勝二
 文化副部長 塚本 由香
 女子部長 新立り子
 女子副部長 吉野 幸代
 レクリ部長 新立 芳郎
 事務局長 大園 和史
 事務局長 山川 京子
 監事 山口 武久
 監事 新立 豊

地区 支部長 副支部長
 染竹 松永フミ子 松田 秀子
 浜崎 大園 一世 肝付ゆき子
 桜戸 原田 スマ 平野 良子
 町中 深水 慶子 財部あけみ
 新川 芦浦 広子 岡下 秀子
 古川 西川 京子 岡下 秀子
 大泊 桜庭みすえ 増田 まき
 倉谷 塚本ミユキ 丸山くみえ
 内野 豊田ヒデ子 椎葉 豊子
 上下門 豊崎 久子 坂口しげ子
 川内 北岡きよみ 下川 久代
 小津奈木 永松 洋子 浜本 郁子

赤崎校区婦人会
 会長 尾花ミヅノ
 副会長 篠原はま子
 書記 開田ヒサノ
 伊藤 実子
 日当支部長 吉野ケイ子
 日添上支部長 藤原 秀代
 日添下支部長 藤原 秀代
 塩屋支部長 篠原はま子

平国校区婦人会
 会長 野崎 節子
 副会長 野崎 昭子
 書記 野崎 久子
 吉野ミエ子
 野崎 美幸
 上村サミ子
 福山 明子
 平野 恵子
 上村サミ子
 平国下支部長 浜田つる子
 合串支部長 尾花ミヅノ

社会教育委員
 及び公民館
 運営審議会委員
 中元 敏行 本山 巖
 山田 公道 徳永 敬二
 緒方 孝行 鶴野 申洋
 岡松 壮 塚本 禎子
 寺本 一喜 丸山 久雄
 福山 重俊 福田 信順
 野崎 節子

昭和六十年度 役員紹介

津奈木老友会

会長 緒方 孝行
 副会長 福島 円太
 副会長 岡松 カキ
 副会長 永松 静代
 書記 久村 論
 監事 福島 末喜
 監事 藤本 兵五
 地区名 会長名
 日野 忠延
 鶴野巳登志
 福島 末喜
 浦口 初義
 田村 正
 川村 静子

津奈木中学校

大 泊 新立 次義
 中 尾 緒方 孝行
 古 中 尾 永原 文作
 倉 谷 益田八百喜
 内 野 山路 茂
 上 下 門 津々木安行
 川 内 西平 定義
 福 浦 福山 末義
 平 国 長浜 一郎
 日 当 伊藤嘉次郎
 日 添 添 諫山 繁敏
 小 津 奈 木 小嶋 正弘

津奈木小学校

会 長 本山 勝三
 副会長 篠原 政利
 副会長 森本 征照
 副会長 野崎 栄二
 副会長 西川 京子

赤崎小学校

会 長 岩崎 博文
 副会長 上村 義晴
 副会長 上村 道子

平国小学校

会 長 福田 裕二
 副会長 山口 正二
 副会長 浜田いつみ

津奈木校区婦人会

本部委員 西平 星子
 本部委員 松田ハツエ
 本部委員 沢井みすえ
 本部委員 竹本カチ子
 本部委員 野島キシエ
 本部委員 千々岩順子
 本部委員 白坂 寿子
 本部委員 西川 京子
 (年令順)

新任紹介

津奈木小学校長 本山 巖

よるしく

子の健やかな成長を願う親心を風とともにほらみながら、新緑の中空に泳ぐ鯉職。日本の五月の風情は、さわやかで心があり、いいものです。親の願い、人々の願いを集めて、子供はたゆみなく成長していきます。然し、いつの間にか願う方向から外れ、親を教師をあててさせるものです。「子供が夢を持ち得ず、或るいは、夢が現実とはなり得ず、葛藤し挫折する。または、逃避して自から大人になる

ことを拒否するか、逆に背伸びして問題を投げかけてくるものです。」子供は、本来活発で自主性に富み、能動的積極的であるものですが、子供の精神的発達阻害要因が増大しているのも事実です。

ある調査によりますと、大人になりたくない子供が、小学六年で七四%、中学二年で七六%、その理由として、「子供でいる方が楽だから」と答えたもの、小六で三六%、中二で三七%占めているのです。鯉職に託した親の願いと、子供達の現実とのギャップ、埋める責任をひしひしと感じるものです。

「津奈木太郎の朝やけに、よるい」が崎の夕映えに……津奈木小学校の校歌に迎えられる着任して一ヶ月、「この子等の瞳の輝き」を失なわせることなく、津奈木小の独自の命の流れを大切に文教の地津奈木の誇りを受継ぎ子供達の健康を願いながら、懸命に努力精進して参りたいと思っております。皆様方の御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

津奈木小学校



前列右より
 桃原 良三先生 特 殊
 本山 巖先生 校 長
 石塚徳次郎先生 教 頭
 佐々布 昌先生 教 務
 中列右より
 右田 恒美先生 四年一組
 山内 美昭先生 三年一組
 早川美津恵先生 養 護
 山本 澄代先生 二年一組
 上田 彰子先生 三年二組
 山本 哲朗先生 五年二組

高橋 泰子先生 一年一組
 平江留美子先生 一年二組
 後列右より
 村上 昭子さん 庁 務
 森 道子先生 栄養士
 本田 浦子先生 六年一組
 泉 清治先生 五年一組
 山田 義博先生 六年一組
 横手 久美先生 四年一組
 千田 慎子先生 事務
 上門 裕子先生 二年一組



赤崎小学校

前列右より
 福田 裕子先生 二年
 山田真佐代先生 三年
 山田 公道先生 校長
 栗塚 岩雄先生 教 頭
 寒川 正典先生 四年
 後列右より
 深川 祥子先生 六年
 松原 千鶴先生 養 護
 山田 格先生 一年
 今坂 孝広先生 五年
 辻 道さん 庁 務

わたしたちの先生

平国小学校

前列右より
 宮本 英也先生 教 頭
 徳永 敬二先生 校 長
 橋口 敬介先生 四年
 池田 郁雄先生 六年
 後列右より
 中村 洋介先生 五年
 山口久美子先生 養 護
 田口 淳子先生 二年
 野崎由美子さん 庁 務
 一川 清美先生 一年
 木村 浩美先生 三年



津奈木中学校

前列右より
 村田 晃治先生 三年一組
 古本 善助先生 一年一組
 大崎 満洲美先生 二年三組
 野田 浩次先生 二年学年主任
 野田 英雄先生 教 頭
 野口 敏行先生 校 長
 中元 敏行先生 校長
 演田 洋一先生 教務主任
 長谷川 徹郎先生 事務
 佐々木興四郎先生 進路指導主事
 柳迫 マサ子さん 庁 務

後列右より
 前田 浩代先生 二年二組
 久々宮嘉代子先生 養 護
 日高 扶由美先生 二年二組
 加藤 昇先生 三年学年主任
 池田 周子先生 津南学級
 松本 宗久先生 津南学級
 坂本 郁博先生 三年二組
 井上 博之先生 一年学年主任
 和田 保隆先生 二年一組
 大童 久美子先生 三年三組